

「国保・介護の負担軽減を」「一人ひとりを大事にできる教育環境を」「公共交通の充実を」…

公約実現へ 全力つくします



いぬい紳一郎 小田桐たかし 植田和子 高橋あきら

4月21日に行われた流山市長選挙で、日本共産党が推薦した無所属のとくますきよこ氏は、14293票を獲得。出馬表明から短期間のたたかいで善戦健闘しました。当選は現職の井崎氏でした。

同じく市議会議員選挙では、日本共産党の4候補がそろって当選しました。直後に参院選も控える下で、市政への要望にとどまらず、国政への不満もこれまで以上に数多く寄せられました。

日本共産党は、市議団4人を確立し、公約実現めざし、議会内外での取り組みを始めました。引き続き全力をつくす決意です。ご支援・ご協力をお願いします。



毎年実施されている国民平和大行進。北海道～東京、そして広島まで各都市をつなぎながら、核兵器廃絶運動を広げています。左から、高橋あきら、いぬい紳一郎、小田桐たかし、植田和子各議員

救急医療の継続・充実を求める署名の提出に立ち会いました。一番右から、いぬい紳一郎、小田桐たかし各議員



年金減らすな 消費税あげるな!!! 憲法活かし、暮らしに希望がもてる政治を 日本共産党

年金や消費増税への不安や不満が高まる下で、「国会の場でしっかり議論し、信頼得られる説明を」…年金問題で、めずらしく市長が議会で注文を付けました。



いっぽう、過去最低クラスの低投票率でも「憲法論議を始めるのが国民の審判」と開き直る安倍政権。地方の声は届いていないのでしょうか。

参院選は、市民と野党の共闘が改選2から10議席へ躍進する一方、改憲勢力が3分の2を超えませんでした。また、市議会では憲法議論より、くらしや子育て環境など市民の関心事は他にたくさんあります。このギャップを埋めずして、投票率の向上はあり得ません。

市民とさらに深く結びつき、日々、共同を大きく育て、より良い政治を求める…政党・政治家の真価（進化）が問われています。

流山民報

2019年 8・9号 NO.199号

流山市加4-1688
TEL/FAX (7157) 6140
日本共産党 giindan@nagareyama-jcp.jp
流山市議団 <http://www.nagareyama-jcp.jp/>
流山市議会事務局 TEL (7158) 1111

ご意見・ご要望をお寄せください

TV報道で 問い合わせ次々

社会福祉法人の法令順守 徹底を

市内外で保育園を運営する社会福祉法人の運営をめぐる決算書の未提出、貸付金の未返還などが発生。党市議団は連続的に取り上げる中、テレビで全国報道に。県内でも異例事態です。子どもや保護者、保育士に影響させないよう法令順守の徹底が不可欠です。

